―モノづくりの根幹を支える―

西部金属熱処理工業協同組合 創立70周年

きょう70周年記念式典開催 さらなる成長目指して

近畿以西の西日本の金属熱処理事業者で組織する西部金属熱処理工業協同組合（大阪市西区、葛村和正理事長）は27日、大阪市北区のリーガロイヤルホテルで創立70周年記念式典を開催する。相互扶助精神のもと、業界の地位向上、発展に尽力した先人への敬意と、組合事業を支えてきた組合員企業や関係業界・団体、行政、支援機関などに感謝の意を伝える。加工技術の高度化対応や人材育成に注力する中、「令和」の新たな時代も迎え、組合は金属熱処理業界のさらなる成長を目指す。

熱処理で社会に貢献

金属製品に不可欠

業協同組合の節目を祝う。式典では長年にわたる組合の社会への貢献に対し、近畿経済産業局や大阪府から表彰を受ける。また、組合本金属熱処理工業会長を務めた川嵜修東研サーモテック相談役による講演会を開催。その後、祝賀会を開く。

記念式典には来賓者を含む235人が出席して西部金属熱処理工業協同組合（組合員17社）された。時代はまだ戦後の混乱期。物資不足の中、個々の事業者では調達が困難な石油や重油、工業用油脂、浸炭剤などの資材の共同購入を主目的に、組合事業を開始した。

㊤重点をおく技術者育成の教育事業㊦４委員会で組合活動を運営。写真は「技術委員会」の討議

組合が歩んできた金属熱処理の業界は、金属製品の製造に欠かせない加工技術を施す業種。金属材料に加熱と冷却を組み合わせて、製品の形を変えることなく、材料に強さや、硬さ、粘さ、耐衝撃性、耐摩耗性、耐食性などを付与する。

例えば金属熱処理をしない自転車のギアはすぐに破断。同様にパンチコ玉も弾性を欠いて変形したり、割れたりするなど、本来の目的とする役割を果たすことはできない。

金属熱処理は、このように重要な役割を担う加工技術として、自動車のボディーやエンジンまわりをはじめ、建設機械や産業機械、家電製品、工具など多くの工業製品・金属製品の製造を支え、高度化するニーズにも応えチンコ玉も弾性を欠い社会に貢献している。

技術者育成に注力

中核の教育事業

組合はこうした熱処理事業を行う西日本の事業者で構成する業界団体として1949年（昭24）11月に設立（組合員17社）された。時代はまだ戦後の混乱期。物資不足の中、個々の事業者では調達が困難な石油や重油、工業用油脂、浸炭剤などの資材の共同購入を主目的に、組合事業を開始した。

併せて組合創成期では、組合共同作業所の開設や機械工具購入などの共同購入品以外の資材品あっせんなども通じて、組合員企業の製造基盤を支援。以降、さまざまな熱処理技術の調査研究にあたり、業界の地位向上に施してきている。

組合事業として、中核をなすのが、熱処理の技術向上を目的とする教育事業だ。熱処理技術者育成事業として「初級入門講座」や熱処理技術者のための「基礎講習会」「中堅者養成講座」、国家検定である金属熱処理技能士の取得に向けた「金属熱処理技能検定学科講習会」などを実施している。

また、国家検定の「金属熱処理技能検定試験」（1、2、3級）の前期試験を大阪府職業能力開発協会から受託し、毎年行っている。同試験には毎回、500人超が受験し、メッキや鍛造など同様な他職種の国家検定の中で受験者数は最多。同試験の検定委員も組合から選出し、組合加入企業の幹部など50人程度を出して、同試験の運営支援にもあたっている。

高校で出前講座

業界周知へ活動加速

取引等の推進のためのガイドライン」の周知を目的に、適正な取引が行われるよう16年度から営業現場の担当者向け研修会を毎年開いている。

また、少子化の進行と人口減少社会を迎えて直面する人材確保への対策では、若手の2代目の経営者などで構成する魅力向上委員会が、若年人材の確保へ業界の周知活動に乗り出している。

18年12月に大阪府立布施工科高校（大阪府東大阪市）で「金属熱処理出前講座」を開き、金属熱処理の仕事をアピール。本年度も同様な活動を行う予定だ。外国人労働者の受け入れでは、総務委員会で技能実習制度を導入すべく、その検討を重ねている。

次代を担う人材育成、さらに人材確保にも取り組みながら、組合は今後も業界の発展にまい進していく。

若手人材確保へ

組合の運営では、「総務委員会」「技術委員会」「マーケティング委員会」「魅力向上委員会」と検定試験に関する「技能検定委員会」を設置し、さまざまな活動を展開している。

このうち、マーケティング委員会では業界動向調査をはじめ、経済産業省の「下請適正

【西部金属熱処理工業協同組合　概要】

◇設　立　1949年（昭24）11月　法人団体　西部金属熱処理工業協同組合を設立
1958年10月　任意団体　西部金属熱処理工業会を設立
1993年４月　協同組合と工業会を統合。協同組合として一本化

◇所在地　大阪市西区靭本町１－８－４大阪科学技術センター３階
◇電　話　06-6479-1340
◇ＦＡＸ　06-6479-1341
◇ＵＲＬ　http://www.seibu.or.jp/
◇Ｅ-ｍａｉｌ　info@seibu.or.jp
◇理事長　葛村 和正
◇会員数　組合員48社、賛助会員52社　合計100社
（2019年３月末現在）

西部金属熱処理工業協同組合理事長　**葛村　和正氏**

インタビュー

先達からの伝統を引き継ぎ、業界発展に向けて歩みを続けてきた。設立70周年を迎えた思いや今後の活動などについて、理事長の葛村和正氏に聞いた。

―70周年の歴史のなかで転機となる出来事がありました。

「2006年の『中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法』の成立に伴い、熱処理が指定技術（17技術）に認定された。これを機に熱処理も業界として認められた。それまで組合の70年の歩みの中でも非常に大きなターニングポイントだった」

―主要な活動を。

「これまで業界の地位向上に取り組んできた。現在は労働、エネルギーコスト、技術伝承の三つの課題の解決を目指し、活動を行っている。労働は、外国人労働者受け入れを含めた問題で、重要視している。国内の熱処理業は24時間稼働が当たり前で、人員確保は大きな問題。ただ、今は人を集めることが難しい時代で、将来大変になるだろう。外国人労働者受け入れの在り方について、業界としてさらに検討を進めるべきで、組合では『外国人技能実習制度の職種作業の拡大』の実現へ努力を重ねる。熱処理業はエネルギー消費産業で、エネルギーコストの問題は常に悩みの種。LNGの価格上昇の影響で、この1年で熱処理にかかわる燃料費は30％ほども上がり、業界は苦境にある。今後も日本金属熱処理工業会と連携し、エネルギー価格問題などについて関係省庁に訴えていく」

―技術伝承について詳しく聞かせてください。

「熱処理は技術の塊で、その伝承に力を入れている。国内の工場では最新の熱処理炉を導入しても、効率を良くする炉修などの改善が次々に行われ、5年も経つとまったく違う炉に進化することが少なくない。温度管理も効率を最大化するさまざまなノウハウがある。こうした高度な技を国内で伝え残す必要がある。これが引いては日本のモノづくりの競争力につながると思う。国家資格の『金属熱処理技能士』の取得も推奨している。『現代の名工』など高位の表彰や栄典の対象になれば、熟練者だけでなく、次代を担う若者のマインドも変わるはず。人材の育成・確保面でも効果があると見ている」

〝技術の塊〟若者への伝承に力

総合金属熱処理メーカー
東伸熱工株式会社
代表取締役　竹内 靖明
〒581-0066 大阪府八尾市北亀井町１－５－３３ ☎072(922)0041
http://www.toshin-nekko.co.jp FAX072(922)0044

高周波焼入装置製造／熱処理受託加工
富士電子工業株式会社
代表取締役社長　渡邊 弘子
〒581-0092 大阪府八尾市老原６－７１ ☎072(991)1361
http://www.fujidenshi.co.jp FAX072(991)1309

熱処理の東熱　金属材料および部品の熱処理加工全般
株式会社TONEZ
代表取締役社長　大山 照雄
〒555-0034 大阪市西淀川区福町１－６－２０ ☎06(6477)3871
http://www.tonez.co.jp FAX06(6477)3887

金属熱処理加工メーカー
株式会社ダイネツ
代表取締役会長　葛村 和正
〒590-0930 大阪府堺市堺区柳之町西３－３－１ ☎072(229)0223
http://dainetsu.co.jp FAX072(229)0226

金属剪断刃物・機械部品製造、一般金属熱処理加工
第一鋼業株式会社
代表取締役社長　妻藤 誠
〒557-0063 大阪市西成区南津守６－３－２２ ☎06(6661)1721
https://daiichis.com/ FAX06(6661)1775

自動車、各種産業部品の金属熱処理及び薄膜形成処理（コーティング）の受託加工
株式会社東研サーモテック
代表取締役社長　川嵜 隆司
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津５－２２－３ ☎06(6719)2812
https://tohkenthermo.co.jp FAX06(6719)3279

真空熱処理・表面改質熱処理・金属粉末射出成形・金属粉末積層造形
大阪冶金興業株式会社
代表取締役　寺内 俊太郎
〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光４－４－２８ ☎06(6328)1345
http://www.osakayakin.co.jp FAX06(6328)1380

浸炭焼入焼戻・焼入焼戻・T6・T73処理
理化工業株式会社
代表取締役　森嶋 勲
〒581-0035 大阪府八尾市西弓削２－６ ☎072(920)3044
https://www.rk-k.jp FAX072(948)1044

金属熱処理
株式会社共立ヒートテクノ
代表取締役社長　山川 耕司
〒581-0051 大阪府八尾市竹渕西４－２８ ☎06(6709)6156
http://www.kyoritsu-ht.jp FAX06(6707)1743

真空熱処理、イオン窒化処理
ISO 9001・14001 認証取得　堺技衆 認証No.0071
八田工業株式会社
代表取締役　隅谷 賢三
〒599-8265 堺市中区八田西町２丁１８－４０ ☎072(277)7227㈹
http://www.hatta.co.jp FAX072(277)8960

金属熱処理加工
三洋金属熱錬工業株式会社
代表取締役　葛村 安弘
〒587-0061 大阪府堺市美原区今井３４８－１ ☎072(361)5711
http://www.sanyounetsuren.com FAX072(361)5578

熱処理受託加工および機械加工
あらゆる機械部品の高周波熱処理・機械加工
高周波熱錬株式会社
Neturen Co., Ltd.
代表取締役社長　溝口 茂
〒141-8639 東京都品川区東五反田2−17−1 (オーバルコート大崎マークウエスト) ☎03(3443)5441
http://www.k-neturen.co.jp/ FAX03(3449)3969

自動車及び各種産業金属部品の熱処理
光洋熱処理株式会社
代表取締役社長　植松 孝俊
〒581-0053 大阪府八尾市竹渕東４－４７ ☎06(6709)7381
http://www.koyo-heat.co.jp FAX06(6705)4754

「ものづくりの町」東大阪で創業50周年
連機、工作機械、産業機械部品の浸炭焼入
三和熱錬工業株式会社
代表取締役社長　坪屋 慎一
〒577-0062 大阪府東大阪市森河内１－４－２８ ☎06(6789)7781
https://www.s-netsuren.co.jp FAX06(6789)7783

創立70周年
西部金属熱処理工業協同組合